

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2023. 2. 23 NO. 369

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ホームページ

杉並区議会第1回定例会 一般質問

理不尽な校則 生徒の声を反映し、見直しを

第1回定例会一般質問で取り上げた「校則の見直し」「区施設での生理用品配置」について報告します。

フリース、ダウン禁止の校則「見直していくことを確認」



フリースジャンパー (イメージ)

1月下旬、区内のある中学校で、フリースのジャンパーを着て登校した生徒が「校則違反」と指摘された事例がありました。保護者からは「寒さに耐えさせるのは人権問題。時代に即して変えてほしい」等の声がありました。

私は、昨年末に文部科学省が改訂した生徒指導に関する基本文書「生徒指導提要」で、児童生徒の参加による「校則」の見直しを強調していることを紹介。教育委員会としてどう対応するのか、問いました。

教育委員会は「各学校の校則について判断する立場にはないが、当該の学校については、次年度に向けて、防寒着についてのルールを生徒の声を反映し、見直していくことを確認した」と答弁しました。

■区立中学校23校の冬季規定

規定内容	規定あり
セーターの色	13校
コートの色	9校
コートの種類	6校

(例) ベンチコート、ダウンコート。ウインドブレーカーは不可。

【校則の見直しに関する記載】
(改訂版「生徒指導提要」より一部抜粋)

■校則の制定に当たって少数派の意見も尊重し、子どもの能力や自主性を伸ばすものとなるよう配慮する。

■見直しにあたっては、児童会や生徒会、保護者会といった場において、校則について確認したり議論したりする機会をもうけるなど、絶えず積極的に見直していくことが求められる。

公共施設トイレに生理用品配置を 区長「検討を指示」

経済的理由などで生理用品を入手できない「生理の貧困」が社会問題となりました。

私は、区施設や学校のトイレに生理用品を配置することを求め続け、昨年10月から、区立小中学校トイレへの生理用品が始まりました。

他自治体では、民間事業者と連携し、公共施設の女子トイレ個室に、スマートフォン操作で生理用品を受け取る機器を備えているところがあり、杉並区でも導入を検討するよう求めました。

区長が答弁に立ち「ご提案のように、区施設で生理用品を配備することも含め「生理の貧困」にどう向き合っていくかを関係部局でしっかりと検討するよう、私から指示をしております」と表明しました。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

「補聴器」購入への助成制度を求める陳情 保健福祉委員会で審査 委員会で趣旨採択 共産党は採択主張

2月17日の区議会保健福祉委員会で、「補聴器」購入への助成制度を求める陳情が審査されました。

3千名以上の陳情署名 住民運動と共産党が連携

陳情は、2021年6月に議会に提出され、その後、現在まで陳情審査が行われてきませんでした。当時、同年9月の第3回区議会定例会では、共産党区議団は高齢者の「補聴器購入費助成条例」を提案。残念ながら、自民・公明・立民等の反対により成立しませんでした。住民運動と連携し、補聴器購入費助成の実現に向けて、徹底論戦に取り組んできました。その間、複数の住民団体が署名運動を継続実施。その数は3101名にも上っています。

岸本区政で予算化 議会の態度も一変

今年度は今議員任期の最後の年度となり、審査未了の陳情は廃案となるため、共産党区議団は、保健福祉委員会委員長に対して、積極的な陳情審査を要請。今回の審査が実現しました。

陳情審査では、提出者による補足説明も行なわれ、高齢者が補聴器を使用する必要性と共に補聴器の購入費が高いため

2021年度第3回定例会に党区議団が提案した「補聴器購入費助成条例」

条例は、65歳以上の非課税世帯に属する区民が、医師の診断に基づき必要な補聴器を購入した際、3万円を上限に区が助成金を支給するものです。

条例の採択に賛成したのは、共産・少数会派連携でした。

■条例提案に対する各会派の態度

会派	自民	公明	共産	連携	立民	平和	無維
賛否	×	×	○	○	×	×	×

自民・公明・立民・平和は条例提案時の態度を一変させ、今回の陳情には趣旨採択を主張した。

に使用することが出来ない切実な実態が示されました。

また、陳情の中身には、「区民検診の診断項目への聴力検査の追加」「補聴器認定技能者の増員配置」「補聴器相談医の支援体制」等、補聴器購入に留まらず、補聴器を使用しやすくするための取組も求めるものでした。

日本共産党区議団は、陳情に全面的に賛同する立場から採択を主張。

自民・公明・立無等の各会派は、健診項目の追加や認定技能者の増員等の主旨に賛同できないとしつつ、助成制度は必要との立場から、趣旨採択を主張しました。

■陳情に対する各会派の態度

会派	自杉	公明	自民	共産	立無	平和	無維
賛否	趣旨	趣旨	趣旨	採択	趣旨	趣旨	不採択

山添拓参議院議員とともに 議員・予定候補7人勢ぞろい

19日、山添拓参議院議員を迎え、浜田山で街頭演説を行いました。

私は、開会中の区議会第1回定例会での日本共産党区議団の奮闘と、前区長支持議員の岸本区長攻撃の実態を報告。

山添さんは、岸田内閣の大軍拡、原発固執を厳しく批判するとともに、相次ぐ大臣や秘書官の辞任など政権能力の欠如を告発。4月の区議選で、7人の区議団に前進させ、戦争する国家づくりにノーの審判を下そうと訴えました。

- 区議会定例会について報告
- 山添拓参議院議員（中央）と議員・予定候補。左は原田あきら都議

